

# 中医弁証トレーニングシート

【著作者:愛媛中医学研究会】

No.2	年齢 38 歳	○ 男	女
主 訴	失眠5ヶ月		
病 史	8年前に学校在学中に失眠を発症したが、後に治癒した。		
現病歴	5ヶ月前、脳を過度に使うことがあり、失眠を再発した。安眠薬の使用を開始し効果があったが、後には効果がなくなった。夜間多夢で、心煩を伴うが3～4時間は眠れる。		
四診所見	【望診・聞診・問診・切診(経絡診)】		【舌診】
	平素から心煩・心悸があり、咽と口が乾き、頭暈、耳鳴、両目干渋、視物昏花、腰がだるい、健忘、頭脳不清(頭がぼんやりする)などがある。面紅、唇干、手足心熱、心悸がある。		舌質紅、苔薄で干
病位弁証	【五臓】肝・心・脾・肺・腎 【六腑】胆・小腸・胃・大腸・膀胱		【脉診】
	【奇恒之腑】脳・髓・骨・脉・女子胞・心包・命門・精室		細数、左関脈が沈細弦脈
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証 / 寒証・熱証 / 虚証・実証 / 陰証・陽証】		
病性弁証	【気病弁証】気虚・気陥・気滯・気逆(肺気・胃気・肝気)・気随血脱・気虚失血・気血両虚		
	【血病弁証】血虚・血熱・血瘀・気滯血瘀		
	【津液不足弁証】		
	【津液病弁証】		
病因弁証	【六淫弁証】風・寒・暑・湿・燥・火 【七情弁証】喜・怒・憂・思・非・恐・惊 【飲食勞倦弁証】傷食・中毒・過勞・過逸		

病 因		
病 機		
証 名		
弁証分析	【生理機能】	【主要な弁証類型】 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
	【病理現象】	
治 則		
治 法		
配 穴	【配穴・処方】	
処 方	【経絡診による反応点】	
処方意義		
伝 変		
按 語		